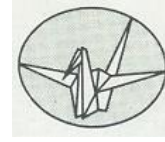




被団協



● 発行所
 北海道被爆者協会
 札幌市白石区平和通
 17 丁目北 6-7
 北海道版 北海道ノーマア・ヒバクシャ会館内
 TEL/FAX 011-866-9545

北海道被爆者協会 ホームページ [http:// h-nomore-hibakusha.org](http://h-nomore-hibakusha.org) メール dohidankyo@poppy.ocn.ne.jp

核兵器は非人道兵器 日本政府は被爆国としての責任を NPT再検討会議再延期、3月に核禁条約締約国会議



会長代行
 廣田凱則

ないではありませんか。ところが核抑止力論をタテに核軍縮をおこたりに核兵器の近代化、使える核兵器の開発すら進めているのは被爆者として許すことができません。

あけましておめでとうございませす。会員の皆さま方、家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年も新型コロナウイルスで世界中の人々が悩まされた一年でした。今年こそコロナウィルスに打ち勝ち、平和で安定した年であることを祈念致します。

さて、新聞等でご承知のように、一月四日にも開かれる予定だったNPT(核拡散防止条約)再検討会議が再延期になったことに合わせ、核兵器保有五大国が「核戦争回避」の共同声明を出しました。ところがよく読んでみると「核兵器が存在し続ける限り、防衛、侵略の抑止、戦争予防を目的とすべき」とあり、核兵器を核抑止力に使うと言っているではありませんか。こんな矛盾した言い方があるでしょうか。核戦争回避だったなら核兵器を持つ必要が

ありませんか。ところが核抑止力論をタテに核軍縮をおこたりに核兵器の近代化、使える核兵器の開発すら進めているのは被爆者として許すことができません。

昨年一月二二日、核兵器禁止条約が発効し、批准国は現在五九か国になりました。核兵器は非人道兵器であるからこそ、核兵器の禁止・廃絶が必要なのです。唯一の戦争被爆国日本の政府も三月に予定されている締約国会議にオブザーバーとして参加し、なぜ諸外国が核兵器を無くそうとしているのか、学んできてほしいと思います。

今年が核兵器廃絶の実現にむけて前進するよう一層の努力をしましょう。



理事
 中村政子(三笠)

明けましておめでとうございませす。

二〇二〇年、二一年は新型コロナウイルスの流行の二年で、政治・経済が大きなダメージを受けただけでなく、三密を避け、不要不急の外出は控えての警告に、世界中が不安と恐怖に陥った年でもございました。皆様にはお元気で過ごしていただきましょうか。



理事
 桶田岩男(函館)

それでも私たちの先達は希望を失わず、明るい年が必ず来る事を信じて前へ進んでこられました。

今年には戦後七十七年、被爆七十七年ですが、中々集会にも出席できない日々が続いています。ですが、私たち被爆者にとつて核兵器のない平和への思いは永遠に変わる事のない希望であり、これから時代が移ろうとも、世界中の人々と共に、その希望を受け継ぎ伝える使命を果たして行きたいと思えます。

寒さもこれから本番です。皆様、どうぞお体をお気遣い下さい。今年が明るい年となりますよう祈っております。

私はこの三月で九三歳になりますが元気でおります。ただコロナの影響もあって、昨年は町内会で一回被爆体験を語っただけでした。

昨今のニュースを見聞きするにつけ、アメリカと中国の対立、北朝鮮のミサイル開発が気にかかります。核保有国が核戦争は起こさないと言いつつ、威嚇のために核は持ち続いています。万が一を考えると不安が残ったままです。

岸田総理は広島出身です。核兵器を無くすことは、彼ができません。誰もできません。ぜひ勇気をもって諸外国に働きかけてほしいと思います。

今年の干支は寅。「虎は千里を走る」「虎視眈々」など勇ましい言葉が多いが「千里の道も一歩から」である。いま核兵器廃絶は何里くらいのところだろうか。道半ばではあるが、歩いている道は確かである。岸田さん、「虎の威(アメリカの核兵器)を借る狐」ではいけないですよ。

3.1ピキニデー北海道集会
 (オンライン併用)
 2/12(土) 13:30~15:30
 於クリスチャンセンター
 講演:安田和也氏

